

平成 27 年度卒業研究発表会要旨集の巻頭にあって

倉持 大地 (筑波大学 生物学類 4 年)

JR 秋葉原駅から、電車で 46 分。都心から離れ、つくば市に移り住んだのは思えばもう 4 年前。染み入るような寒さの中、入学式に参加したことが昨日のように感じられます。大学での大きなイベントも残りわずか、その一つが卒業研究発表会です。初めて発表会に赴いたのは 1 年生の終わり頃、大学生活にも慣れ、4 年生になった時の自分を少しずつイメージし始める時期でした。概論を終え、「少しは発表内容を理解できるだろう」と踏んでいましたが、全くの見当違い。聞き慣れない専門用語、飛び交う質疑に、ただただ圧倒されました。自身の勉強不足を思い知り、「3 年後、先輩方のようになれるのだろうか？」と不安を感じたことを良く覚えています。

2、3 年生では、運営スタッフとして卒業研究発表会に関わりました。特に印象深かったのは 3 年生の頃に参加した発表会。見知った先輩方の発表を見ることができたためです。いつもにこやかな先輩方の顔も発表の際は、打って変わって真剣そのもの。張りつめた空気の中、堂々と発表を行う先輩方の姿は、卒業研究を行った 1 年間の濃密さを窺わせるものでした。それから 1 年の月日が経ち、今年はいよいよ、私たちが発表をする立場です。

卒業研究では、数多くの慣れない作業をこなす必要がありました。英語論文の閲覧や、数々の実験など、例を挙げればきりがありません。たった 1 年間ですが、苦労したことや失敗したことなど、苦い思い出がたくさんあります。しかしながら、大変な思いをしてデータを得られた時の喜びは何事にも代え難いものでした。発表会では、内容はもちろんのこと、発表者にも注目して

いただければと思います。きっと、どこか誇らしげな姿をしていることでしょう。

発表会は、後輩の皆さんにとって、卒業研究を知るまたとない機会です。積極的にたくさんの発表を聞いてみてください。疑問が浮かんだら質問をしてみるのも良いです。大勢の前で質問をするのが恥ずかしければ、個別に聞きに行くことも可能です。優しく、丁寧に答えてくれると思います。もしかすると、研究室についても聞けるかもしれません。

最後になりますが、卒業研究発表会の企画、運営を下さった 2、3 年生には、大変な苦勞をかけたことと思います。本当にありがとうございました。そして、4 年間ご指導を下さった先生方、支えて下さった事務の方々に心より感謝申し上げます。先生方の奥深い授業、事務の方々のサポートのおかげで、生物学についてより深く知ることができました。皆様のお力添えがなければ、今の私たちはありません。

つくば駅に向かう途中、意識をしながら周りを見渡すと、様々なものが見えてきます。ループ道路に設置された街灯、1 学に出来たグローバルcommons、体芸エリアの大きな体育館、そして、つくば駅前の BiVi つくば。いずれも、私たちが入学した頃は存在しなかったものです。「気づかぬうちにいろいろなものが出来ていたのだな」と感じ入る今日この頃。足早に過ぎ去った 4 年間も、実際には長い期間だったのだと実感させられます。

Communicated by Kenji Miura, Received January 13th, 2016.